

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

| | |
|---------|-----------|
| 記入日 | 2018/8/11 |
| 所属学部 | 文学部 |
| 所属学科・専攻 | 国際言語文化学科 |

1. 留学先について

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------------------------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|-----------------------|-----------|--|----|-----------------------|------|-----------------------|
| 留学先大学名 | サラマンカ大学 | | | | | | | | | | | |
| 留学先所属学部等 | 翻訳・文書学部 翻訳・通訳学科 | | | | | | | | | | | |
| 留学期間 | 出発日 | 2017/9/11 | 入学日 | 2017/9/18 | 修了日 | 2018/6/30 | 帰国日 | 2018/6/22 | | | | |
| 住居 | 大学(紹介)の寮・アパート | <input type="radio"/> | 民間アパート | <input type="radio"/> | その他() | | | | | | | |
| | 通学時間 | 15分 | | | | | On campus | | | | | |
| | 通学方法 | 徒歩 | | | | | | | | | | |
| | 居室スペース | <input type="radio"/> | 個室 | () | 人部屋 | その他() | | | | | | |
| | 共有スペース | <input type="radio"/> | 完全個室 | <input type="radio"/> | キッチン | <input type="radio"/> | トイレ | <input type="radio"/> | バス | <input type="radio"/> | リビング | <input type="radio"/> |
| 食事 | 自炊 | 60 % | 学食 | 0 % | 外食 | 40 % | その他 () % | | | | | |
| 保険 | 海外旅行保険(名称) | 損保ジャパン | | | | | | | | | | |
| | 派遣先大学指定の保険(名称) | Europe Assistance | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> 強制加入 | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | |
| 渡航ルート | ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車) | | | | | | | | | | | |
| | 羽田 ⇄ | | 北京(飛行機) | | | ⇄ マドリード(飛行機) | | | | | | |

2. 留学にかかった費用について

| | | | | | | | | | |
|------|-----------------------|---------|-------|-----------------------|----------|-------|-----------------------|-----|---|
| 総費用 | 120万 円 | | | | | | | | |
| 出どころ | | | | | | | | | |
| 自費 | <input type="radio"/> | 貯金 | 10万 円 | <input type="radio"/> | アルバイト | 円 | <input type="radio"/> | その他 | 円 |
| 援助 | <input type="radio"/> | 両親 | 円 | <input type="radio"/> | 家族・親戚 | 30万 円 | <input type="radio"/> | その他 | 円 |
| 奨学金 | <input type="radio"/> | JASSO | 80万 円 | <input type="radio"/> | その他名称() | 円 | | | |
| その他 | <input type="radio"/> | 千葉大学助成金 | 円 | <input type="radio"/> | その他() | 円 | | | |

2-1. 財政管理の方法

| | | | | | | | |
|-----|-----------------------|------|-----------------------|--------|---|--------|---|
| 渡航時 | <input type="radio"/> | 現金 | | 3万 | 円 | その他() | 円 |
| 留学中 | | 海外送金 | <input type="radio"/> | キャッシング | | その他() | |

2-2. 各費用の支払い方法

| | |
|-----------|-------------|
| 大学に払った費用 | なし |
| 住居にかかった費用 | 大家さんに現金を手渡し |
| その他 | |

2-3. 内訳

| 費目 | 外貨金額 | | 円貨金額 | |
|---------------|------|-------|---------|---|
| | 通貨単位 | | | |
| 渡航費(往復) | | | 10万 | 円 |
| 海外旅行保険 | | | 30万 | 円 |
| OSSMA | | | 2万 | 円 |
| 査証・在留許可証 | ユーロ | 60 | 7,800 | 円 |
| 住居 | ユーロ | 2,300 | 315,000 | 円 |
| 食費 | ユーロ | 1,000 | 135,000 | 円 |
| 通学に要する交通費 | ユーロ | なし | | 円 |
| 教科書、教材費 | ユーロ | 10 | 1,350 | 円 |
| その他大学に支払った経費 | ユーロ | なし | | 円 |
| 光熱費 | ユーロ | 300 | 40,500 | 円 |
| その他 (公立語学学校) | ユーロ | 350 | 47,250 | 円 |
| その他 (ピラティス教室) | ユーロ | 50 | 6,750 | 円 |
| その他 (旅行) | | | 226,350 | 円 |
| その他 () | | | | 円 |

3. 学業面

| 履修科目名 | 種類 ^{ex.正規、聴講} | 単位数 | 単位互換認定申請の有無 | | | |
|--|------------------------|-----|-------------|---|---|---|
| | | | ○ | 有 | | 無 |
| 1 Literatura Española del siglo XX | 正規 | 6 | ○ | 有 | | 無 |
| 2 Fundamentos para la traducción segunda lengua inglés | 正規 | 3 | ○ | 有 | | 無 |
| 3 Gramática para la enseñanza del español | 正規 | 3 | ○ | 有 | | 無 |
| 4 Introducción a la poesía española | 正規 | 3 | ○ | 有 | | 無 |
| 5 Traducción audiovisual inglés | 正規 | 6 | ○ | 有 | | 無 |
| 6 Historia de la filosofía | 正規 | 6 | ○ | 有 | | 無 |
| 7 Traducción japonés | 聴講 | 6 | | 有 | ○ | 無 |
| 8 | | | | 有 | | 無 |
| 9 | | | | 有 | | 無 |
| 10 | | | | 有 | | 無 |

3-1. 授業科目の選択、登録方法

学科で留学生向けにセメスター最初にオリエンテーションがあるのでそれに参加して登録方法を確認・科目一覧の紙をもらう。ネットにはシラバスも出ているので、それらと授業に出てみた感じを参考にして決める。授業を体験できる期間は二週間ほどあるが、最初の授業でレベル確認のためのテストがある場合があるので、興味のある授業には最初はとりあえず出ておいたほうがよい。履修したい科目が決まったら、用紙に記入して秘書室に持っていく。パスポート写真を持っていく場合や、秘書室へ行くための予約を守衛室で行わなければならない場合があるので、オリエンテーションでの指示に従う。登録後はstudiumという千葉大学でいうmoodleのようなものが閲覧できるようになる。

3-2. 授業内容、方法に関して

教授が講義を行うタイプと、少人数で一緒に問題を解決するタイプなどがあるが、基本的には生徒の発言数がとても多い。気になることがあったらその場で手を挙げて解決したり、生徒自らが授業内容を発展させていったりするような、主体的な授業の受け方である。教授は留学生に寛容な場合が多いので、許可を得て録音させてもらい、復習時に役立てるという方法もある。

3-3. 語学力について

留学前は授業をしっかり受け予習をしていくことと、会話形式の普遍教育の授業に聴講で参加したり、English Houseの交流プログラムでスペイン語話者と友達になり一緒にご飯を食べたりするなどしていたため、最低限の会話はスペイン初日から出来た。ただ、話すスピードが速く最初のうちは聞き取れなかったけれど、怖がらずに毎日スペイン人と触れ合うことで、リスニングスキルや話す能力が向上する。留学最後には、政治や宗教などどんな話題でも議論することができるようになった。毎日スペイン語に触れるためには、スペイン人の友達を作り一緒に出掛けることが大事だと思います。

3-4. 図書館など学内施設について

学部ごとに図書館が隣接されており、それぞれの図書館はその学部の内容に特化した参考書を置いている。学部にもよるが、文学部や翻訳部の場合は町中にあるので、学部内にはカフェテリアが無いが学部近辺にたくさんある。翻訳学部の学部内には授業で使用以外以外の時間にパソコンを使える部屋がある。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

寮に住むのはとても高く、多くの人はピソというアパートのようなものでシェア生活を送っている。私は女子二人と三人で生活を送っていた。値段は寮に住んだ場合の2分の1から3分の1程度。冬場に暖房を入れるとガス代が高く付いたが、それ以外は日本とほぼ変わらない程度の光熱費。ただ、ピソによっては暖房費無料で館内にいつでも暖房がかかるピソもある。夜にパーティーをすると苦情を言いにくる近隣住民もいたり、警察が来る場合があるので注意が必要。

4-2. 食生活について

私はアパートに住んでいたのが基本自炊でした。お昼は、授業の合間は大学の近くの、安くパンを売っている店があるのでそれらやスーパーを利用していました。友達と約束をして、バルに行ったりレストランのメニューを食べたりすることもありました。夜は家でルームメイトと一緒にテレビを見ながら食べるか、友達と外食に出かけていました。スーパーでは、果物も野菜も量り売りなので、欲しい量だけ買うことができます。基本的には安いです。中国人が経営するアジアの食品店にもかなり通って、みそ汁や梅干し、たくあんなども家で食べることができました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

アパートでは備え付けwifi無料の契約でした。携帯電話は、スペインの空港に着いたときに空港内にある携帯会社でSIMを買って説明を受けました。その後はサラマンカで、同じ携帯会社に行って予め買ったギガが無くなる度に追加のチャージをしていました。追加のチャージ6ギガ15ユーロほどで、私の場合二、三か月は持っていました。バルやレストランで店員さんにwifiのパスワードを聞くと、大体どこでも教えてくれます。

4-4. 服装について

特に気を付ける必要はなかったように思います。各国からの留学生や観光客も多いので、各自が着たいものを着て問題はなかったです。ただ、朝・夕と日中の寒暖差が大きい日は多かったので、脱着の調節ができるよう、羽織るものを持ち歩くと便利です。

4-5. 健康管理について

サラマンカは日本に比べてとても空気が乾燥しているので、慣れるまでは喉がヒリヒリ痛くて寝ている最中に目が覚めるほどでした。喉スプレーやはちみつを使ってなるべく喉を潤すようにしていました。冬は日本より少し寒いですが、日本と違って温泉やバスタブがあまりないので、湯たんぽや温かいお茶などで寒さを凌いでいました。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

春に、アレルギーから来る咳がひどかったので公共の病院を受診しました。日本で加入した損保ジャパンの加入証明書を持っていき、現地ではお金を払わずに受診できました。日本に帰国後、保険会社から電話でいくつかの確認事項を聞かれ、それに答えました。面倒なことはなかったのも、遠慮せず病院を受診してよと思います。

4-7. 課外活動について

運動をしたいと思い、探してみましたが、千葉大学にたくさんあるサークルのようなものはあまりなく、部活は大会に出るほど本格的だったのでやりませんでした。そこで前期は、大学のプログラムですが地域の人にも開放しているピラティスの教室に参加しました。週二回、四か月で50ユーロほどでした。課外活動が無くても、毎日放課後に友達と遊ぶので暇にはなりません。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

サラマンカにはintercambioというスペイン語と日本語の語学交流の場があり、週一で決まった曜日に決まったカフェに人が集まります。日本語を勉強しているスペイン人と、スペインに来ている日本人が友達になる最大のチャンスです。また、学生団体がerasmusの留学生向けにツアーなどを企画しているので、フェイスブックなどを通して情報を仕入れ、それに参加すると、同じく交換留学で来ている世界中の友達ができます。Erasmusはヨーロッパの留学生が対象ですが、サラマンカでのerasmus向けのイベントはアジアでもアメリカでもどの国の人も気軽に参加できます。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ほっかいろ、熱さまシート、ヒートテックは現地で売っていないので持っていくべきです。マスクを公共の場で着用すると重病の人に見えてしまうらしいので誰もつけませんが、家の中で喉の保湿用に使う分にはあると便利だと思います。紙辞書ですが、テストのときに電子辞書の使用が禁止、紙辞書なら許可される場合が多かったので、日本から一つ使い慣れているものを持っていくと良いです。現地で売っている辞書は専門的な用語が載っていないので、初心者のための辞書だったのでテストであまり役に立たなかったです。あと、薬は安心して飲めるためにも日本から持っていくと良いです。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

文房具、衣服。スペインでも買える上、スーツケースのスペースを占領してしまうので最小限に減らしていても良かったなと思いました。私は帰りの空港で荷物の重量オーバーで結構衣服を空港で捨てることになったので、スペインで安い物を買って、お気に入り以外は捨てるかいいと思います。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

スペイン人は皆が社交的だったり、のんびりマイペースというイメージがありますが、もちろん全員がそうではなく、シャイだったり、挨拶のハグやキスが苦手という人もいたり、約束に絶対遅れないスペイン人もいたので注意が必要です。ひとまとめに人間を括ってしまって決めつけることは出来ないと思います。ただ、多くのおしゃべりが大好きで、よく話す人は好かれるという印象でした。何も話さないと、何を考えているかわからないと思われるので、大したことでもなく、その日にあった出来事や考え事を話すと喜ばれます。会ったときと別れ際には両頬にキスを一回ずつします。人同士の距離が近いので最初はびっくりしていましたが、慣れてくるとそれも心地よい物に変わりました。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【イタリア・ミラノ、ベネツィア(観光)】2017年11月(四日間)、約5万円
 【ドイツ・フランクフルト、スイス・ベルン、ツェルマット、ジュネーヴ(観光)】2017年12月(十日間)、約15万円
 【モロッコ(観光)】2018年3月(10日間)、約7万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

私は人と会うことが気分転換になるので、積極的に友達と出かけました。家では、ルームメイトと他愛もない話をしてリビングで時間を過ごしていました。また、暖かくなってからは川の近くを散歩したり、芝生でバレーボールをしたりしました。Youtubeで日本のバラエティを見ることもありました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

サラマンカ大学は私がいるときにちょうど、800周年を迎えました。ヨーロッパでは4番目に古いという、歴史ある大学です。学部によってキャンパスの位置が異なりますが、文献学部や翻訳学部は観光地の中でも中心地、大聖堂のすぐ向かいにあります。そのため、いつも観光客や学生で賑わっており、活気ある楽しい街に大学があります。千葉大学と同じく総合大学なので、いろいろな学問分野で友達ができ、より一層教養を深めるチャンスがあります。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

時間はあるように見えてあっという間に過ぎ去ってしまうので、今しかできないと思って、思い切ってやりたいことにチャレンジするほうが良いと思います。特に、初対面の人が多い留学先では、新しい自分を見せることがあまり恥ずかしくないのが、チャンスです。最初に思い切ってしまうと、あとは思ったより簡単な場合もあるし、逆に困難なこともあります。一歩踏み出すだけで想像もできなかった世界を体験することができます。

5-3. 留学を終えて

たくさんの友達や素晴らしい教授たち、地域の温かい人たちのおかげで、渡航前には予想していなかったくらい楽しい留學生活でした。いつも楽しかったと言えばそれは少し嘘になりますが、言語面で自信を喪失して殻に閉じこもりたくなったときは、たったの10か月しかない留學生活がネガティブな日々で埋め尽くされるのはもったいないと思ったので、積極的に外の世界に出ていくようにしていたことが、最終的には言語の向上に繋がったと思います。たくさんの人々やその考えに触れたことで、知識も見分も、物事に対する自分の考えも変わって、多角的になったと思います。

勉強面でも正直すべての瞬間が楽しかったわけではなく、テスト前は受験勉強のように泣きながら勉強した日々もありました。でも、そういう困難を乗り越えたことは自信につながりましたし、スペイン人を見習ってもう少し楽観的になることを覚えました。全てのことが今の私に影響を与えているのだと思うと、嬉しいです。このような形で、留學した経験が私の中で生きていくのだと思います。関わってくださった全ての方に感謝したいです。